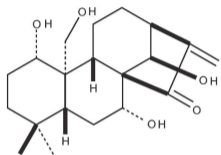
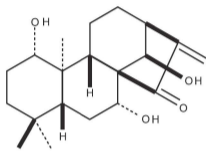


28amD-008

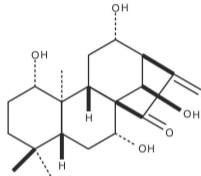
狗日草 (コウジツソウ) ジテルペン類のモルモットにおける心機能作用
頼実 舞¹, 澄川 彩音¹, 川根 誉代¹, 日比 千尋¹, 平出 瑞紀¹, 齊藤 久美子¹,
青柳 裕¹, 一柳 幸生², 竹谷 孝一², 杉本 由美³, 山田 潤³, 福沢 嘉孝⁴,
野々垣 常正¹, ○堀田 芳弘¹(¹金城学院大薬, ²東京薬大薬, ³横浜薬大, ⁴愛知医大)



Kamebakaurin(1)



Kamebanin(2)



Excisanin A(3)

シソ科植物である狗日草(*Rabdosia excisa*)は、中国東北部に分布し、感冒の発熱、乳腺炎、関節痛、打撲傷に用いられている。われわれは、これまでに同植物の水抽出エキスからの成分検索を行い、新規抗腫瘍活性 ent-カウレン型ジテルペンを報告した。更に、比較的多量に得られるジテルペンを用いてアナログ合成を行い、細胞毒活性や細胞内転写因子 NF- κ B 活性化阻害活性に関して、構造活性相関を検討してきた。今回、本植物より得られるジテルペン 3 種について、モルモットの心機能について検討を行った。1,2,3 ともに陽性変力作用(PIE)を認めた。心拍数(HR)は 3 のみ有意に増加した。